

保健体育科

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【知識・技能】

備えた知識をもとに、技能を向上させるポイントを見付けることができる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を学び、行えるようになってきている。さらなる向上が必要。 ・女子の運動への意欲を向上させることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の合理性を理解させ、継続して指導にあたる。 ・男女共習の利点を生かし、相互の良い点を認めさせながら意欲を引き出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で運動を意欲的に行えるようになってきている。知識の定着が課題。 ・水泳が苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識の定着を狙いとして、繰り返し学習するように指導していく。 ・意欲を引き出す課題を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 <p>（水泳は今年度行わなかったため翌年度の課題）</p>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に運動に親しむ生徒が多く、集団として様々な種目に前向きに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わりを通して運動に対しての視点を多角的に捉えることができるように指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 意欲的に運動に取り組みさせる工夫
- 2年 他者との関わりから知識・技能をともに向上させる工夫
- 3年 他者との関わりから知識・技能をともに向上させる工夫

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

- 1年 授業規律・集団行動の重要性
- 2年 授業規律・集団行動の重要性
- 3年 授業規律・集団行動の重要性